NIE実践報告

1．タイトル：新聞からみえる社会～　新聞ってどんなもの？

2．学校名
高島市立安曇小学校

3．実践者名（代表者名）
田中　究　藤原 昌美

4．学年
第６学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数
総合的な学習の時間　　５８名（２クラス）

6．単元（本時の学習課題）名
新聞スクラップをつくろう

7．目標（狙い）
身近なものや興味のあるものをテーマにして、スクラップをつくることを通して、自分たちの周りを知るとともに、社会の事象や出来事に関心をもち、多様な見方や考え方があることに気づき、自分の考えをもつ。

8．評価の視点
〇新聞スクラップづくりを通して、多様な情報があることに気づき、活用への関心を高めているか。
〇知らせたい情報を分かりやすくまとめ、工夫して伝えようとしているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）
「新聞を読もう・スピーチをしよう」（朝の会・帰りの会）「新聞を知ろう」（総合５）「新聞スクラップをつくろう」（総合４）「新聞をつくろう」（総合２）「学習のまとめ」（総合２）　　合計１３時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点
①新聞を読んで、出来事に興味をもち、新聞に関心をもつ。（１時間）
・朝の会で記事の音読紹介。（１学期：小学生新聞　２学期～　：一般新聞）　帰りの会で新聞スピーチ。
②新聞の仕組みや工夫をみつける。（４時間）
③テーマを決めて記事を集め、スクラップをつくり、紹介する。（４時間）
④興味のある記事を活用したり、自分で取材したりしながら自分新聞をつくる。（２時間）
⑤これまでの学習をふり返る（２時間）
（留意点）
・トップ記事の音読紹介や新聞スピーチを大事にし、新聞と関わり、社会事象にふれる機会をつくる。
・新聞を知る学習では、NIEパスポートを活用する。
・新聞スクラップづくりでは、タイトル・発行者・段組・図絵・写真等の工夫し、自由な形でまとめる。
・記事に対するコメントを大事にし、紹介の時には、何を伝えたいのかをはっきりさせる。
・自分新聞では、構成や書き方、写真などの工夫を促し、新聞を表現モデルとして参考にさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見
・最初は新聞そのものに戸惑いを感じ、内容を十分に把握できずに苦労している児童が多かったが、継続する中で徐々に慣れ、楽しみにする子も増え、社会事象に対する関心は高まった。
・読む、知る、つかむ、書くなど多様な学習ができ、新聞を身近な役立つものとしてとらえるようになった。

12．成果と課題
・どの子もが社会の出来事に目を向けるよい機会となり、継続して読むことにより、今社会でどの様なことが起こっているのかをつかむことができた。
・新聞は内容が吟味されており、事実を的確に伝えるものが多く、私見が少ないため、教材として信頼して活用できる。そのため、児童の読み取ったり、考えたりする力を伸ばすのに有効であった。
・新聞に使われている漢字や語句が難しく、一人で読み取ることが困難であり、最初は戸惑いがあり、読むのに時間がかかった。一般紙は解説が必要であった。